

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587026901	科目番号 / Subject code	05870269
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12111_005		
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会：医療、災害とインフラ、環境リスク（医療現場の安全と安心） / Safety and Relief in the Health Care		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	林田 秀明 / Hayashida Hideaki, 安田 二郎 / Yasuda Jiro, 濱野 真二郎 / Hamano Shinjiro, 松田 浩 / Matsuda Hiroshi, 松本 武浩 / Matumoto Takehiro		
授業担当教員名（科目責任者） / Professor in charge of the subject	林田 秀明 / Hayashida Hideaki		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Professor(s)	林田 秀明 / Hayashida Hideaki, 安田 二郎 / Yasuda Jiro, 濱野 真二郎 / Hamano Shinjiro, 松本 武浩 / Matumoto Takehiro		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生（クラス等） / Object Student	2年次生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hide nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は を@に変更して送信してください）		
担当教員研究室 / Laboratory	総合歯科診療部		
担当教員TEL / Tel	095-819-7757		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日16:30?18:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	国内・外での病原性感染症発祥の歴史や国際伝播、情報共有について理解を深め、認識するとともに、国際人として国際社会で活躍するために、自ら医療の安全、安心の意識を育てる。		
授業到達目標 / Goal	?国内・外で注目されている感染症および生体防御の基礎について理解する。 ?医療現場における安全と安心について理解する。 ?歯科医療における安全と安心について理解する。 ?		
授業方法（学習指導法） / Method	基本的に講義形式とする。 内容により参加型の討論形式などを行う。		
授業内容 / Class outline / Con			
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	医療現場・感染症・国際伝播・情報共有		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	プリントの配布とスライドによる講義なので教科書・教材・参考書等特になし		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	レポート（70%）、小テスト（15%）、授業参加度（15%）による評価で計100点満点中60点以上の者を合格とする		
受講要件（履修条件） / Requirements	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考（URL） / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	各種メディアを利用して関連する事柄を調べることが、理解を深めるために有用である。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	歯科における標準予防策（林田）		
第2回	歯科治療における偶発症とその防止策（林田）		
第3回	新興感染症出現の背景と致死性の高いウイルス性出血熱に関する基礎知識（安田）		
第4回	テレビや映画の中の感染症：正しく伝えられているか？（安田）		
第5回	病気を起こす原虫とは？（安田）		
第6回	世界的に重大な感染症マラリアに関する基礎知識（安田）		
第7回	ネグレクトッド・トロピカル・ディジーズ（顧みられない熱帯病）：「死なないからと放っておかれてはたまらない」1（濱野）		
第8回	ネグレクトッド・トロピカル・ディジーズ（顧みられない熱帯病）：「死なないからと放っておかれてはたまらない」2（濱野）		

第9回	細菌の感染の仕組み (濱野)
第10回	地球規模のピロリ菌感染 (濱野)
第11回	「防御は最大の攻撃??ヒトの免疫の話」どうやってヒトはバイキンを追い払ったり負けたりするのか? (濱野)
第12回	「防御は最大の攻撃??ヒトの免疫の話」どうやってヒトはバイキンを追い払ったり負けたりするのか? (安田)
第13回	医療機関における安全管理 (松本)
第14回	医療連携における安全・安心 (松本)
第15回	診療録管理を通じた安全・安心の医療の提供 (松本)
第16回	

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2017/06/06 ~ 2017/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587028501	科目番号 / Subject code	05870285
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12121_005		
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会：医療、災害とインフラ、環境リスク（自然災害とインフラ長寿命化） / Natural Disaster and Maintenance of Infrastructure		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 浩 / Matsuda Hiroshi, 森田 千尋, 蔣 宇静 / Jiang Yujing		
授業担当教員名（科目責任者） / Professor in charge of the subject	松田 浩 / Matsuda Hiroshi		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Professor(s)	松田 浩 / Matsuda Hiroshi, 森田 千尋, 蔣 宇静 / Jiang Yujing		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生（クラス等） / Object Student	2年次生 ?		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	matsuda nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください）		
担当教員研究室 / Laboratory	工学部1号館6階 ?		
担当教員TEL / Tel	095-819-2590 ?		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日6時間目 ?		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	本授業は、台風、水害などの自然災害におけるリスク管理と防災計画を理解するとともに、膨大な数のインフラ構造物の劣化・老朽化状況を把握しインフラ長寿命化の意義を理解する。この授業を通して、自然災害に遭遇した際、インフラ構造物の劣化・損傷を発見した際に、将来実社会で遭遇しうる際に役立つ知識を修得することがてることが本授業のねらいである。 ?		
授業到達目標 / Goal	自然災害におけるリスク管理と防災計画を理解するとともに、膨大な数のインフラ構造物の劣化・老朽化状況を把握しインフラ長寿命化の意義を理解する。そしてこのような事象に遭遇した際の対処方法を習得することを到達目標とする。 ?		
授業方法（学習指導法） / Method	本授業では、PowerPointを用いたプレゼンテーション形式で授業を進めるとともに、ビデオ等も用いて理解を深める。 本授業では、講義、グループ活動、発表を通して「自然災害と防災」および「社会インフラ構造物の長寿命化」についての知識を深めていく。初めの数回は、講義形式の授業を数回取り入れ、この授業における前提の知識を得る。その後は、1グループ5名ほどのチームに分かれ発表に向けた調査を行う。調査では、図書館やインターネットで情報収集をし、チーム内で議論をしながら発表準備を行う。発表では、調査結果を報告するだけでなく、他のグループを評価しながら、新たな知識を身につけていく。 ?		
授業内容 / Class outline / Con	[ ]内の数字は第何回目の講義であるかの目安。( )は到達目標。  ? ガイダンス ----- [自然災害と防災] ----- ? 自然災害概論と防災の考え方（日本の自然災害の特徴と防災・減災の考え方）特別講師：高橋和雄 ? 防災・減災のための社会システム（災害対策基本法、防災情報システム、気象警報等）特別講師：高橋和雄 ? 地域防災計画（避難計画、ハザードマップ、自助・公助、高齢者等の避難）特別講師：高橋和雄 ? 地震・津波・火山災害と防災対策（災害による現象・被害と防災対策）特別講師：高橋和雄 ? 豪雨・台風・高潮災害と防災対策（災害による現象・被害と防災対策） ? 土砂災害と防災対策（斜面崩壊、地すべり、土石流、液状化） ? インフラと防災対策（モニタリング、リアルタイム防災、道路災害等） ----- [インフラ長寿命化] ----- ? 長崎県内の橋 ? 橋を強くさせるためには ? ペーパーブリッジコンテスト（強い橋を考える） ? ペーパーブリッジコンテスト（強い橋を作る） ? ペーパーブリッジコンテスト（コンテスト） ? 「橋は大丈夫か」「巨大都市再生への道」 ? 「観光ナガサキを支える“道守”養成ユニット」 ----- ? 試験 ?		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			

キーワード/Key word	長崎県、自然災害、リスク管理、防災計画、社会インフラ構造物、劣化・老朽化、インフラ長寿命化？
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	[自然災害と防災] 高橋裕:川と国土の危機、岩波書店、この講義についてはプリント配布(高橋) [インフラ長寿命化] なし、必要に応じてプリント配布。？
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポート、グループプレゼンテーションの発表内容、最終試験(担当者で異なる。授業のはじめに連絡予定)で評価する。？
受講要件(履修条件)/Requirements	モジュール?を受講していること。？
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
1	? ガイダンス [自然災害と防災][インフラ長寿命化]
2	[自然災害と防災] ? 自然災害概論と防災の考え方(日本の自然災害の特徴と防災・減災の考え方)
3	[自然災害と防災] ? 防災・減災のための社会システム(災害対策基本法、防災情報システム、気象警報等)
4	[自然災害と防災] ? 地域防災計画(避難計画、ハザードマップ、自助・公助、高齢者等の避難)
5	[自然災害と防災] ? 地震・津波・火山災害と防災対策(災害による現象・被害と防災対策)
6	[自然災害と防災] ? 豪雨・台風・高潮災害と防災対策(災害による現象・被害と防災対策)
7	[自然災害と防災] ? 土砂災害と防災対策(斜面崩壊、地すべり、土石流、液状化)
8	[自然災害と防災] ? インフラと防災対策(モニタリング、リアルタイム防災、道路災害等)
9	[インフラ長寿命化] ? 長崎県内の橋
10	[インフラ長寿命化] ? 橋を強くさせるためには
11	[インフラ長寿命化] ? ペーパーブリッジコンテスト(強い橋を考える)
12	[インフラ長寿命化] ? ペーパーブリッジコンテスト(強い橋を作る)
13	[インフラ長寿命化] ? ペーパーブリッジコンテスト(コンテスト)
14	[インフラ長寿命化] ? 「橋は大丈夫か」「巨大都市再生への道」
15	[インフラ長寿命化] ? 「観光ナガサキを支える“道守”養成ユニット」

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/16		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587029701	科目番号 / Subject code	05870297
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12151_005		
授業科目名 / Subject	安全で安心できる社会：医療、災害とインフラ、環境リスク (環境リスクと社会) )/ Environmental Risk and the Public		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤井 秀道 / Hidemichi Fujii, 松田 浩 / Matsuda Hiroshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤井 秀道 / Hidemichi Fujii		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤井 秀道 / Hidemichi Fujii		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Object Student	多教経薬水 学部生を対象		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	藤井秀道 hidemichifujii nagasaki-u.ac.jp 吉田護 yoshida-m nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してくだ さい)		
担当教員研究室/Laboratory	藤井秀道 (環447) 吉田護(環433)		
担当教員TEL/Tel	藤井秀道 (095-819-2756) 吉田護 (095-819-2733)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	藤井秀道 (月曜10:00-12:00)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	環境リスクについて、様々な環境問題に焦点を当てて、その被害や人類への影響、解決策について 学修を行う。これら学修を通して環境リスクの科学や政治との関係について考察し、それをもとに 環境リスクの管理における科学と社会の関係について考えさせることをねらいとする。加えて、気 候変動リスクの上昇に伴い、危惧されている災害被害の深刻化や、伝染病を媒介する昆虫の生息域 変化など、環境問題と関連が深い問題について、災害対策や医療技術の視点から、問題の解決策・ 適応策について理解を深めることを目指す。		
授業到達目標/Goal	?環境リスクの基礎的な情報を理解する。 ?環境リスクに対する対策及び防止策を講じるための分野横断的な科学的知見について理解する。 ?限りある予算の中で効果的な対策を講じるための経済的な視点を養う。 ?リスク管理における、市民の立場、役割及び責任を理解する。		
授業方法 (学習指導法) /Method	以下の各項目に関する基礎的知識を学び、それについてグループで演習に取り組む。 ?気候変動リスク ?水資源利用及び食料供給リスク ?リスクの低減を目指した予算・資源配分案の考え方		
授業内容/Class outline/Con	環境リスクの基礎的内容について講義した後、気候変動リスクについて、リスク低減を目的として 制度化された排出権取引制度について実験を実施し、アクティブラーニングを通じて体感する。そ れを通して対策制度の効果や必要性、課題について考察し、それをもとにリスク管理における科学 と社会の関係について学修を進める。加えて、水資源や食料といった人間生活に欠かせない財につ いて、その供給リスクを説明するとともに、これらの財への十分なアクセスが難しい人々の現状に ついて理解を深める。これらの情報を踏まえ、限られた予算や資源の中で、どのように配分を行う ことが人々のリスクを低減させるために望ましいかを考察するとともに、その配分を適切に行うた めの制度設計について考察を行う。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	環境リスク、気候変動、食料、水資源、資源配分、政治、公共性、価値、公平		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業資料を毎回、配布します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	試験及び授業への取り組み態度		
受講要件 (履修条件) /Requirements	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	社会にある多様な問題。それらに無関心であることの弊害を考えましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

1	イントロダクション(前半) 気候変動リスク(後半)
2	気候変動対策の取り組みと制度(前半) 排出権取引の実験(後半)
3	水資源利用に関するリスク(前半) 食料供給リスク(後半)
4	リスク回避に向けた資源配分問題(前半) 適切な資源配分を目指した制度設計(後半)
5	近年の自然災害(前半) 身近に迫る自然災害(後半)
6	災害の発生メカニズムを知る(前半) 災害への備えを知る(後半)
7	災害リスクマネジメント(前半) 災害リスクガバナンス(後半)
8	ハザードマップと避難行動(前半) 身近な自然災害リスクを考える(後半)